

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2015年6月25日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	主変圧器付近のプラント内放送設備(拡声装置)の動作不良を確認した。当該装置を点検・修理。	
2	1号機	ろ過水移送ポンプ(C)最小流量配管吐出弁の操作時、弁棒を折損させたことを確認した。当該弁を点検・修理。	
3	3号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)の圧縮機容量調節用電磁弁の排気口から微量の排水を確認した。当該圧縮機を点検・修理。	
4	4号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器逆洗水圧力調節弁後弁の弁棒付け根部に微量の水のにじみを確認した。当該弁を点検・修理。	
5	5号機	タービン潤滑油系主油タンク油分離器の異常を示す表示が発生し、装置が自動停止したことを確認した。当該油分離器を点検・修理。	
6	6号機	換気空調系ダクトの点検時、原子炉格納容器パージ用送風機上流側ダクト部に微小な穴が開いていることを確認した。当該部を修理。	
7	6号機	原子炉格納容器冷却系ダクトの点検時、原子炉格納容器内風量調整用ダンパーの4台に固着を確認した。当該ダンパーを修理。	
8	その他	補助ボイラー(2A)排ガス窒素・硫黄酸化物濃度記録計の点検時、反応時間が管理値を超えていることを確認した。当該記録計を修理。	
9	その他	補助ボイラー(2A)給水流量記録計の点検時、反応時間が管理値を超えていることを確認した。当該記録計を修理。	